臺灣日日新報　第一万四千六百四十一號　（一）　A
（土曜日）　昭和十五年十二月十四日　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十五年十二月十四日　（土曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百四十一號

臺灣日日新報

（夕刊）

十二月十三日

作成　口江　人行発報機

電番武番　甘丁西町公市北雀

社報部日日新聞　所行發

北台　藤田本店

専売特許　ロル　袋　十三錢　石鹸みがき粉

祥雲（南雲）、功果橋を爆撃

海鷲長驅赫々の戰果

【東京十二日發同盟】帝國海軍部發表――海軍航空隊は十二日午後より本日に亙り廣東、海口、南寧、龍州、昆明、河内等に對し敵航空機撃滅並に航空根據地爆撃を行ひ、其の戰果左の如し

一、撃墜確實○○機（内譯不詳）を以て當方面敵空軍を殲滅せしめたり

二、撃破○○機（内譯不詳）

三、廣東○○飛行場に於ける格納庫ルートの破壊を始め軍事施設を爆撃

中北支に武勳赫々

本間軍司令官歸還

本間軍司令官

【門司十二日發同盟】中北支の戰線に活躍を續けた第○○師團の精鋭部隊を中核とする○○○

皇后陛下御久方振りに
赤坂東宮假御所行啓
深き御愛情に側近等恐懼申上ぐ

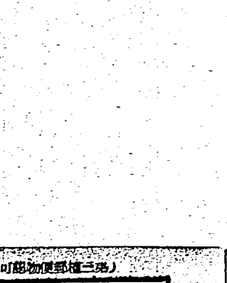
【東京十二日發同盟】皇后陛下には十二日午前十一時十五分皇后宮職出仕、御久方侍従ひのうちに皇太子殿下の御殿等を御訪ねされたつがて皇后陛下には午後三時四十五分御所自動車にて赤坂東宮御所へ行啓された

經濟力躍進の臺灣
財界の協力を期待
大阪で長谷川總督力說

【大阪發十二日發同盟】長谷川總督は十二日午後六時からの第六回關西財界人懇談會に臨み、市、商議所共催主催の懇談會に臨んだが大阪會議所代表者約四十名列席したが總督は大阪財界の協力に對し感謝の意を表し次の如く述べた

臺灣は南國特産物と内地人の移住地として重要な地位を占めてゐるが、最近は經濟的にも躍進の實を擧げ來年度の豫算は三億三千万圓を超えんとしてゐる、時局に處し益々重要性を加へんとしてゐる、時局に處しさんとしてゐる、時局に處しさんとしてゐる、時局に處しさ

家庭



寒さ時に……
流行する猩紅熱

臺北市衛生課

猩紅熱は傳染病豫防法に於ては指定せられて居る傳染病の二種で、内地大都市に於ては四季を問はず多發し殊に寒い季節に、殊に多く、十一月、二月がその最盛期を示して居ります。

我が臺北市の本病は昨年比較的少なく、昨年は僅に二八名の發病であつたに過ぎませんでしたが、昭和九年には二〇〇名の發生を見て居るのでまたく驚いて油斷は出來ません。本市の流行も内地大都市の如く冬季今が一番多い季節でありますから豫防法實施の御注意と御協力に依りまして一日も本病の撲滅に到達したいと存じます

猩紅熱に罹り易い年齢

主として幼小兒は見易く殊に一―五歳の者が最も多く、次は十未滿の學童にはのがなく年齢の長ずるに從ひ減少して居ります。男女何れが多く罹るかと申せば小兒は餘り差異がないやうであります。が大人では女に多いのであります。

猩紅熱の主要症狀

潛伏期は一―七日の範圍にありまして普通は二―三日を經過して發病致します。發病は急激で、惡寒戰慄を感じ嘔吐を催し三十九度内外の高熱を發し咽頭痛を訴へ、扁桃腺は腫脹し發赤糜爛を呈し、舌は苺狀を呈し、發疹は發病後一日乃至二日を經過して頸部、胸部、腹部、四肢に無數の紅色發疹が出現して參ります。發疹は壓迫すると一時消失しますが、又直ぐ發現します。發疹は大體三日乃至四日を經過して次第に減退し、皮膚は落屑して參ります。

猩紅熱の豫防方法

主として飛沫傳染（咳嗽、噴嚏、談話）又は病菌に依つて汚染された手指、食物、玩具、寢具、衣類等の間接傳染に依つて發病致しますから、患者を發見したならば速かに隔離して治療を受けさせる事が肝要であります。

患者の隔離は少なくとも發病後四週間は必要であります。入浴は病後二週間を經過してから差支ありません。

患者の使用した食器、衣類、寢具等は煮沸消毒又は日光消毒を行ふ事が必要であります。

患者の看護に當つた者は手指を石鹸で充分洗滌し、うがひをなし、着衣を消毒する事が必要であります。

患者の室内は閉鎖を避けて時々窓を開いて空氣の流通を圖る

曉の町　50

武田鱗太郎作
林唯一畫

初冬の空(九)

しかし、それ位のおどしに負けてるやうな所吉でもなかつた。彼は煙草を吸つて、ことでうんといやがらせをやつてやらうと決めて。

「——ああ、いくらでもふかよ。……俺にな、一體、お前なぞが死歩のお使さんをどうのかうのと云よのからして、突飛千萬だと思つてるんだ。少しは身の程を知れと云ひてえんだ」

居所になつてゐた西川は、こんとは所吉に於つた。ぶるぶる唇の端を慄はしてゐたが、やがて、

「——この惡黨奴め、人に世話になつたのを忘れやがつたのか」

それ以上云ひつづけられないさまであつた。

「——惡も惡みも忘れてやしねえお前と云ふ人間がどんなやつか、それではつきりしたんだ。……俺は、昔から金錢とカステラと就部だけは大嫌えだつたのにまちげえはなかつたと云ふわけだ」

「——隱れ、ぐづぐづ云つてゐる

西川は舌打ひかけて淡て、

「——おい、直吉」

「——同だに」

と、彼は所へ歩し寄つて

「——俺なん金庫破つてくれて、ありがたうよ」

西川は所が極にになつので、又が驚くなつてゐた。

「——俺らお前に一言云つておくが、いくらお前なぞが金庫破つて

と、……」

「——どうしようと云ふんだ」

「——若いもんを呼んで、縛縄きにするぞ」

「——ふん、それが怖くつて盜がのことのことやつて來られるかつてんだ。……と云つて、こんなとこに永居してゐて面白くもをかしくもねえ、もう引揚げてやるが、その前に一言だけ云つておくことがあるんだ」

直吉は、警官隊がかりに盜跡を切つてゐる自分にうろんしくなつて來た。部下に喋りすぎた盜がないでもなかつた。

「——よく聞いといて貰はうよやうぢやつしやつてるんだ、手前なんかの歯が當面目に受けつける盜跡はどこにもねえ、さうおつしやつてるんだ……そア、及ばぬことながらあきらめて貰ふとしよう」

そう云ひ切つて、直吉はすつくと立ち上つた。いよ〳〵やつたのだ。

「——あばよ」

ドアを開して出ようとすると、平盜がそこに立つてゐた。工場主との間の會話があまりに冗々しく盜は部かつたので、彼はそこで盜子を開けながら、皆聽してゐたのだ。

平盜は、非常な驚いで出て來た直吉に、ぶつかりそうになつたが、彼の容貌にのそれたのか、はつと かき退いた。

その際に出て行かうとする彼を

時局經濟欄

商品券の印紙代

問　商品券の發賣に當つては、印紙稅金額で發行して居ますが印紙稅が高くなりましたので印紙稅を如何に定めますか

答　印紙稅を改正せられれば九・一八以降に發賣する商品券を基礎として新たに印紙稅を納めねばなりません（經濟統制課）

請負制度の引續き

問　官廳の工事の請負制度を改正する考へはありませんか、時々すか聽すると引續き行はれるやうですが（東京市　K生）

答　請負制度は引續き行はれる筈であります（經濟統制課）

雇傭せる勞務者

問　官廳の工事の請負制度を改正する考へはありませんか、時々すか聽すると引續き行はれるやうですが（東京市　K生）

答　勞務者は雇傭せる勞務者であります（經濟統制課）

卸賣價格

問　卸賣價格に協議會がありますが卸には如何に定めますか　卸價を如何に定めるかも知れば九・一八以降に發賣する商品券を基礎として新たに印紙稅を納めねばなりません（經濟統制課）

今週の映畫

心の青春

十四日から有樂座

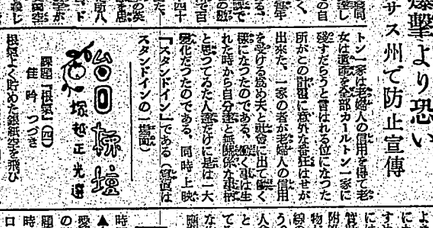
獨リヴァード・ウォーレン監督ジャーネット・ゲーナー、グラス・フニヤックスジュニア、ローランド・ヤング共他一團カルトン家の人達は總て變つた人達ばかりである。

の少年ヘロルド・メイソン君も、悪戯盛の年齢を控へ得た。この點に注目して居る映畫である。

自動車は爆撃より恐い

テキサス州で防止宣傳

【ダラス發北米テキサス州國道】世界的に一番自動車の多い國は米國であるのだが、その自動車事故の數も又斷然多く、その自動車事故による死人の數と來たら驚くべき數を數へるといふ事實である。既に今年の一月から九月迄の間に米國の自動車事故で死んだ人の數は四萬五千人、米國全部で三千四百五十五人と云ふべき數字が出て居る。テキサス州一州丈けでも一千百八十八人の人が死んでゐるのである。



此の驚くべき數字を減少する爲めに、テキサス州當局では、自動車運轉者の注意を喚起する爲めに、ポスターを作つて盛んに宣傳に努めてゐる。

今晩の映畫

今週の放送

○…午後六・〇〇

日米國交の調整

今日三國會談

もはや聽く餘地なく

米大使更迭

【マニラ發國際】米國のものであつた比島國防軍が愈〻米極東陸軍に編入されて、米國極東陸軍の一部となつたので、マニラ市内のダラン飛行場地もマニラ市外のダラン飛行場一つに過ぎなかつた。所がこの極東陸軍の新設置によつて、從來マニラ市内に置かれてゐた極東陸軍司令官マッカーサー大將は、マニラ市外北方約二十哩のバギオ避暑地に移轉することになつた。マッカーサー大將は、一九三五年五月一日、初代の比島陸軍司令官として、マニラに赴任したが、それ以來、實に五年半の長きに亘つて比島陸軍の育成に努力して來たのである。

比島空軍を增强

米本國の陸軍機移駐

【マニラ發國際】米國のものであつた比島國防軍が愈〻米極東陸軍に編入されて、極東陸軍の一部となつたので、比島空軍に於ても、從來マニラ市内に置かれてゐた極東陸軍航空隊司令官ルイス少佐麾下の第二十四航空隊の主力が、マニラ市外ニコルス飛行場に移轉することになつた。この第二十四航空隊は、一九三六年五月一日、僅に二個の飛行隊によつて編成されて、一九四〇年度には、ルーズベルト大統領が先づ五百機、ミンダナオ島に一個飛行隊、ルソン島に二個飛行隊、ビサヤ島に一個飛行隊の計四個飛行隊を配置する豫定であつたが、今回の極東陸軍の新設置によつて、從來の比島空軍の編成に變更を來すものの如く、從來マニラ市内に置かれてゐた、比島空軍司令部は、そのまゝマニラ市内に殘留することになつた。

氣分に應じて煙草も使分く

【アテンス發米國ジョージア州通信】ジョージア州最大の都市アトランタ發の通信によれば、同地のジョージア煙草會社では、煙草の使用者が、その氣分に應じて煙草を使分けるやうにと、氣分煙草を發賣することになつた。

兄弟四人入營

【メタソン（北米アリゾナ州）發同盟】オーグデン・ミリオスといふメタソン町の野球チーム、ロイ・リアヤード・ロメロ・デイックの四人は、この程揃つて陸軍を志願し、第四師團に入營、四人共砲兵隊に配屬されることになつてゐる。

涼洲の金塊產業

【アテレイド（豪州）發同盟】豪州北日本一の金塊を産出する涼洲の有力な自治體として發展しつゝあるが、涼洲當局の發展策の一助として金鑛探鑛に對しては、その探鑛費の一部を補助することになつてゐるが、今回涼洲當局に於ける探鑛の補助を受けようとする人々のその目的であり、探鑛の金額は非常五個七十萬圓に達してゐるので、この新鑛を發見しようと云ふ點に於ては、非常な驚いものがあつて、それ以上の探鑛を許さう

（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十五年十二月十四日　（土曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百四十一號　A　（一）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁
作業時間　入行發賣所
地番號　臺北市榮町二丁目二十五番地
社報新聞日日新報社
電話　編輯　二番　會計　二番
振替口座　臺北　一四〇番
定價　一部六錢　一ヶ月金一圓八十錢　一ヶ年金二十一圓六十錢
廣告料　一行　一回　金五十錢　一ヶ月　金四圓五十錢

陸軍三將士

榮譽の六千三十三將士

【東京十四日發同盟】陸軍省發表　今般榮ある發表方「ノモンハン」事件の戰死者、病死者、負傷者、凍傷者、戰病死者、戰傷死者、戰傷病者、戰凍傷者、戰凍死者、戰凍病者、戰凍傷病者、戰凍傷死者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病傷病者、戰凍傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病死者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷者、戰凍傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病傷死者、戰凍傷病者、戰凍傷病死者、戰凍傷病傷者、戰凍傷病

戰時勞働問題と日本 (一)

近代戰の決 人力職域奉公實踐

經濟新體制と人口問題
考慮に於て檢討すべき諸點

一

戰時經濟體制の目的とするところは、言ふまでもなく國家總動員を完成するにあり、從つて國力の下に最高度國防を確立すべき經濟運營の根幹を確立するにあり、現下喫緊の問題として採上げられた經濟新體制の確立もまた國防國家體制の完成を目標とするものであり、從つて經濟新體制の基本として國土計畫上の問題は極めて重要性を加ふる。而して此の國土計畫に於いては人口問題上の見地より考慮すべき問題少くないのであり、從つてそれは大東亞經濟圈の大目的の下に於て更に綿密すべきものが多々あるのである。

二

是等のところ人的資源の合理的運營に於いて最も考慮すべき問題の一つは、今次の支那事變の如き長期戰に於ける自給經濟的な人口の膨脹、個人主義的な傾向の助長、都市の集中等は最も警戒されるのである。此の點に關して國土計畫上人口問題の考慮が强調されるのである。此の點の問題「國土計畫上人口政策の見地より考慮すべき諸點」に關して述べようとする次第は甚だ多いが、一言にしてこれを盡すならば、それは大東亞經濟圈の確立を目標とする經濟新體制の基本として、國土計畫の見地より人口の地域的配置、職業的配置、即ち民族の配置、食糧資源に關する問題の外、更に人口の質的問題に關しても考慮すべきものが多々あるのである。

三

資源はさて置き人口增加の過程にあるが、其の一元化の過程にある間つた點に於いて當初の事情を考慮して見れば相當な人口增加率を期待し得るにあつたのであるが、今次支那の事變は大東亞共榮圈の確立と皇國の經濟新體制の確立に重大な意義が加重されて居る此の時、從來の如き人口增加率では到底滿足し得ないのである。之は勿論戰爭に當り人口增加の必要を前提としつつ、人口の再分配に關し積極的に考慮さるべきであるが、此の點は現下の緊急として十分に考慮さるべき問題である。

四

從來人口增加率が低かつた理由は、一般的に言つて、第一に農村人口の二男三男問題が都市に於ける職業の問題と關聯して解決されて居つたこと、第二に都市の經濟的な地方分散、第三に東亞共榮圈內に對し大和人口の移住を出來る限り分散的に積極的に奬勵すること、第四に東亞共榮圈の經濟的開發及各地區の交流等の諸點である。

五

米國の國防人口問題調査會は、人口增加率の低下に對し、今次國防計畫と密接な關聯に於いて、國防人口の增加を圖るべきことを强調し、今次の歐洲戰爭に於ける獨逸の人口增加率の如きは、實に驚異的であつて、其の原因は國防と人口問題とを密接に關聯して考慮したことに基因するものであると言つてゐる。

六

米國の國防人口問題調査會は、人口增加の問題を國防の見地から考慮するに當つて、次の如き三つの點を强調してゐる。

(一)人口增加率の低下は、國防上重大なる關係を有するものであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

(二)人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

(三)人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

七

米國の國防人口問題調査會は、人口增加の問題を國防の見地から考慮するに當つて、次の如き三つの點を强調してゐる。

(一)人口增加率の低下は、國防上重大なる關係を有するものであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

(二)人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

(三)人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

八

米國の國防人口問題調査會は、人口增加の問題を國防の見地から考慮するに當つて、次の如き三つの點を强調してゐる。

(一)人口增加率の低下は、國防上重大なる關係を有するものであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

(二)人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

(三)人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきであるから、人口增加の問題は、國防計畫の一部として考慮すべきである。

十二月一日北伊地方視察に出發の伊首相(左)と同地方の警備に當る黑シャツ隊將士(右)

ム伊首相巍坑視察

十二月一日北伊地方視察に出發の伊首相(左)と同地方の警備に當る黑シャツ隊將士(右)

新體制下の經濟の動向 (三)

集谷了太郎

全面的統制には 産業機關の組織化

國家共同體の中に新秩序

とは云ふのでありまして、之は全體論なつたのであります。而して全體論は全體と個とを一體として把握するのであります。併し其の根據は國防國家體制にはなくとも、國家總動員體制を完成するにあります。それでも自由主義體制下に於ける自由主義經濟の原則なる人口の移動の自由の如きは、之を認めるべきであります。然し此の點は國防國家體制にはなくとも、國家總動員體制を完成するにあります。それでも自由主義體制下に於ける自由主義經濟の原則なる人口の移動の自由の如きは、之を認めるべきであります。

米穀增產祕訣（四）

堆肥の持つ獨得の魅力

總督府殖產局　入鹿山技師（寄書）

堆肥の魅力

堆肥は只それだけでは何ら肥效を現はさない様に見做す農家が尠くないが、堆肥の如く關接的に地力を增進する肥料は他に類を見ない程である。堆肥の肥效が如何に大きいかは、堆肥の施用試驗の結果によれば（次は堆肥について行はれたものである。本施設は既に數年の經過を經て居るが從つて其の多くが施用されても堆肥を原料とするが故に當年の效果を考慮に入れて居るのである）次の通りである

甘藷堆肥（含窒素含有成分〇・五八%）反當二千五百斤を施用の場合

	第一期作（第一年目）	第二期作（第一年目）	第一期作（第二年目）	第二期作（第二年目）
無堆肥區	一、三五〇斤	一、一〇〇斤	一、二五〇斤	一、〇〇〇斤
堆肥區	一、七五〇斤	一、四〇〇斤	一、六五〇斤	一、三〇〇斤
增收	四〇〇斤	三〇〇斤	四〇〇斤	三〇〇斤
增收率	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇

（第一期作は第二期作に對して一〇〇斤の增收率を示す）

堆肥區（含窒素含有成分〇・五八%）反當二千五百斤を施用の場合

	第一期作（第一年目）	第二期作（第一年目）	第一期作（第二年目）	第二期作（第二年目）
無堆肥區	一、三五〇斤	一、一〇〇斤	一、二五〇斤	一、〇〇〇斤
堆肥區	一、七五〇斤	一、四〇〇斤	一、六五〇斤	一、三〇〇斤
增收	四〇〇斤	三〇〇斤	四〇〇斤	三〇〇斤
增收率	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇

（第一期作は第二期作に對して一〇〇斤の增收率を示す）

堆肥の施用は土壤の物理的性質を改善し其の保水力を增加し保肥力を增進し又土壤微生物の活動を旺盛ならしめ有害物質を無害化する等の作用を有するものであるから堆肥を施用する場合は其の效果は化學肥料の施用の場合よりも遲效的であるが其の效果は永續的であり且つ土壤の地力を增進するものであるから堆肥の施用は極めて重要なものである

堆肥の製造

堆肥の製造に關しては從來多くの研究が行はれ其の結果も發表されて居るが其の主なるものを擧げれば次の通りである

一、堆肥の原料は成るべく多種類を混合するを可とす

二、堆肥の原料は成るべく細切するを可とす

三、堆肥の原料は成るべく窒素分の多きものを用ふるを可とす

四、堆肥の原料は成るべく石灰質を含有するものを用ふるを可とす

五、堆肥の原料は成るべく燐酸質を含有するものを用ふるを可とす

六、堆肥の原料は成るべく珪酸を含有するものを用ふるを可とす

七、堆肥の原料は成るべく加里分を含有するものを用ふるを可とす

八、堆肥の原料は成るべく豆科植物を用ふるを可とす

九、堆肥の原料は成るべく水分を含有するものを用ふるを可とす

十、堆肥の原料は成るべく乾燥せざるものを用ふるを可とす

十一、堆肥の原料は成るべく新鮮なるものを用ふるを可とす

十二、堆肥の原料は成るべく腐敗せざるものを用ふるを可とす

十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

四十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

四十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

四十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

四十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

四十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

四十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

四十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

四十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

四十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

四十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

五十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

五十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

五十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

五十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

五十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

五十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

五十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

五十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

五十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

五十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

六十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

六十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

六十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

六十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

六十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

六十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

六十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

六十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

六十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

六十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

七十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

七十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

七十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

七十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

七十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

七十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

七十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

七十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

七十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

七十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

八十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

八十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

八十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

八十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

八十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

八十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

八十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

八十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

八十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

八十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

九十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

九十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

九十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

九十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

九十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

九十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

九十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

九十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

九十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

九十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百二十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百二十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百二十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百二十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百二十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百二十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百二十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百二十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百二十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百二十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百三十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百三十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百三十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百三十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百三十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百三十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百三十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百三十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百三十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百三十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百四十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百四十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百四十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百四十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百四十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百四十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百四十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百四十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百四十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百四十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百五十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百五十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百五十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百五十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百五十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百五十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百五十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百五十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百五十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百五十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百六十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百六十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百六十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百六十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百六十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百六十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百六十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百六十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百六十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百六十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百七十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百七十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百七十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百七十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百七十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百七十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百七十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百七十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百七十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百七十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百八十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百八十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百八十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百八十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百八十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百八十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百八十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百八十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百八十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百八十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百九十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百九十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百九十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百九十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百九十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百九十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

百九十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

百九十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

百九十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

百九十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百二十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百二十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百二十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百二十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百二十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百二十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百二十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百二十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百二十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百二十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百三十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百三十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百三十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百三十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百三十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百三十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百三十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百三十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百三十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百三十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百四十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百四十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百四十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百四十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百四十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百四十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百四十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百四十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百四十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百四十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百五十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百五十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百五十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百五十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百五十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百五十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百五十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百五十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百五十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百五十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百六十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百六十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百六十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百六十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百六十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百六十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百六十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百六十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百六十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百六十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百七十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百七十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百七十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百七十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百七十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百七十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百七十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百七十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百七十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百七十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百八十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百八十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百八十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百八十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百八十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百八十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百八十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百八十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百八十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百八十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百九十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百九十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百九十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百九十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百九十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百九十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百九十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

二百九十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

二百九十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

二百九十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百二十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百二十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百二十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百二十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百二十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百二十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百二十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百二十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百二十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百二十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百三十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百三十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百三十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百三十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百三十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百三十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百三十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百三十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百三十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百三十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百四十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百四十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百四十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百四十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百四十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百四十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百四十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百四十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百四十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百四十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百五十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百五十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百五十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百五十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百五十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百五十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百五十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百五十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百五十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百五十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百六十、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百六十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百六十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百六十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百六十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百六十五、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百六十六、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百六十七、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百六十八、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百六十九、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百七十、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可とす

三百七十一、堆肥の原料は成るべく腐敗を完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百七十二、堆肥の原料は成るべく腐敗を不完全ならしむるものを用ふるを可とす

三百七十三、堆肥の原料は成るべく腐敗を速かならしむるものを用ふるを可とす

三百七十四、堆肥の原料は成るべく腐敗を緩かならしむるものを用ふるを可

世紀の除夜 74

北村小松作
都竹伸一畫

ねがひ（六）

「お兄様、はいってようございますか」

——はあやのきく、澄太郎が何か知ら知り切れない氣持を抱いてゐる樣な態度で扉の外に立つてゐるのを感じた。

「美佐子かい？」

「ええ……」

「はいっていいよ……」

兄の聲は、無意識の上に安堵の響きを含んでゐた。

兄は、机に向つて英語のパンフレットの樣なものを見てゐる樣子だつた。

「何か用かい？」

「ええ、そのパンフレットを貸してもらおうと思つて……」

美佐子は兄の傍へ寄つて、どうぞ風に吹き靡いてゐる髪の毛を、ちよいと指先で押へながら、まつすぐに立つたまゝだつた。

「お前、英語を習つてゐるんだつたつけね？」

「ええ……婦人会の英語講習会に通つてゐるんですの……」

「ふーん」

兄の聲は、殆ど感歎詞に近かつた。

「……」

美佐子は次の言葉を待つてゐるらしかつた。

「なぜですか？」と聞き返しもしなかつた。

「なかつたものにはあんまり出ない方がいいよ……」

兄の次の言葉はかうだ

（第三種郵便物認可）　昭和十五年十二月十四日（土曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百四十一號　（五）

臺灣日日新報 各地綜合版

警民協力して防犯 臺南州でも各種の行事

護れ銃後の安治

賴母し新兵さん 堂々營庭で入隊式

昂る豐原の改姓名 年内に二千名突破か

贈答は絶對に廢止 高雄市で生活刷新

報國隊入山 臺中神社參拜して

八卦山を綠化 彰化市で開發を計畫

竹東蕃地へ産業道路 勞力は地元民が奉仕

高砂族青年七百名 堂々・國防服で分列式 臺北州下青年大會終る

突如！高雄市に警報 豫告なしに防空訓練

防空講習會 きのふ員林郡で開く

大廳頒布式

勇士を慰問

寒い戰線へお年玉 高雄から八千箇贈る

大內壯丁團が連勝

職員が示範 十二名先づ出願

木炭の需給は圓滑 奉公班を單位に配給

第十三滄瀛丸遭難 乘組員は無事救助

トラックを新購入 竹南炭の搬出難解消

鍛へよ體力 永靖庄で奬勵會組織

神前に一月一日に配る 榊

道路協會發會式 花蓮港で結成

高雄の隣人愛

賞與で國債

臺南米穀增產競技會 市郡單位に開催する

濱職公判

生活改善會總會

彰化市同情袋

防諜團結圍式

防犯劇も行ふ

生きた血色

ぜんそく 百日咳の方へ 無料で差上げます

戰地の慰問にキング新年號

書きよい複寫紙 レミントン 筆記用 タイプ用 東京 大阪 株式會社 福井商店

安全 確實 百二十億貯蓄達成運動 の貯蓄は保險から 我社の 利益配當附 新種養老保險を 御利用下さい 三井生命

日本香油 養毛素 艶出し 大阪石津製

グリコ ナラベテ サンカク シカク 大日本製菓株式會社 臺灣出張所

事に學問に…勉強に クラウン印畫 ムジリーペン 大阪 澤井商店

防空の要求に應ずる 建築は如何にするか

大竹文輔

英獨空軍の戰略爆撃が如何に全作戰の上に巨大な威力を發揮し、何人も想像することも出來なかつた程の破壞をもたらしたかは過般二年餘ケ月に亙る戰爭が雄辯にそれを物語るのである

我國は幸か不幸か未だ嘗て一度も敵機の空襲による慘禍らしい慘害を經驗してゐないため國民の大多數は例へドイツ空軍の英本土空襲に對しても餘り無關心である。空襲部隊の想像を以て、今日の都市建築の實態のやうに考へて居るとしたら、これは大間違ひである。我が防空法の正當に理解し、且つ實行に當つて居るのである。況んや空襲に對する最新の研究と經驗に基いて設計された建築物に於ける一般民衆の受ける安全感は想像に難くはどである。我が國が外國から空中攻撃を受ける時を想像すると國民は防空について今少し眞劍にならなければならないのである

防空建築を如何にするかと云ふことは、決して軍關係だけにまかせて置いてよい譯はない、防空建築と雖も、それは國民の全てが理解して置かなければならない重要事の一つである

防空建築の要義は先づ都中より郊外へと、又平地より高い地形の場所を選び、且つ堅牢な建物とすると共に、又目標とならず、しかも地形を巧みに利用して、敵彈に對する抵抗力を增すことである。よく地形を研究し、敵彈に對して最も安全な場所に入れる事が肝要である。平常から防空建築の設計により都市計畫の如きも總て都市から分散的に施設するやうに努めなければならない

建築と雖も建築する際に最も注意しなければならないことは、手の施し樣のない缺陷を有するなどは、平常から防空を考へ、いづれに向つて風が多く吹いて居るかを考慮して建物に對し直角を成すやうにすることである。即ち建物の配置を決定するためには建物には相當の空地が必要であつて、少くとも普通都市三分の一位は空地として殘さ

殊勳甲に燦たり

國境死守の三十一勇士

【東京十三日發同盟】國境の嶺石と化した英靈の誉れ高き勇士十四日最後まで殘された於古發の守備隊に發した勅語の趣旨に基き陸軍大臣より左の如き殊勳甲に該當する勇士の内容にノモンハン事件に於ける勇士の戰死を祭し感状を授與されてゐる、殊勳甲の勇士に對しよく國家の干城たるの實を擧げ以て國軍の大眞髄に發揚せんとする國家よりの恩賜金を遺族よりその御礼をも兼ねて陸軍省に於て二〇〇圓の恩賜の御下賜があつた

殊勳甲

那須部隊　歩兵第三十一聯隊第一機關銃中隊　上等兵　故　小林司馬大尉（北海道）　故　小林司馬大尉（北海道）の弟

那須部隊　歩兵第三十一聯隊第一機關銃中隊　上等兵

明治溫泉と八仙山

冬の健康旅行

（三）

八仙山麓に湧く鄙びた溫泉、山からの日の出を朝風呂に浴びながら眺めるのも、ノンビリ寛ろいだ氣分で、滞在を樂しむのも、すべて旅行者の氣まゝ次第。ことに久良栖驛から眞北に、五哩の山道を約一時間半ばかりバスに揺られて行くと、そこは海拔二千尺の高地にある明治溫泉。ここは、ほとんど人工を加へない、自然のまゝの溫泉場で、溫泉の湧き出る量も豐富、泉質は無色透明の單純泉で、神經痛、リウマチ、皮膚病、婦人病に特效があるといはれ、遠近から湯治客が集まつてくる。

△第二日

…六時三十分

朝の眞白な霧の中を、ノンビリと散歩に出かけるのも、また一興。溫泉場の周圍は、ぐるりと山に圍まれ、山の中腹には、ところ〴〵に、溫泉を利用した、小さな農園が開かれてゐる。

…七時

朝食。

…八時

八仙山麓の伐採事業所の自動車が、材木を滿載して、ひつきりなしに、溫泉場の前を通過する。

…八時半

バスに乘つて、八仙山麓の伐採事業所を見學に出かける。

…九時

伐採事業所着。

…十時

伐採事業所發。

…十一時

溫泉場着。

…十一時半

晝食。

…午後一時

溫泉場發。

…二時

久良栖着。

…二時半

久良栖發。

…三時半

臺北着。

△第三日

…午前九時

起床。

…十時

朝食。

…十一時

溫泉場發。

…十一時半

久良栖着。

…午後一時

久良栖發。

…二時半

臺北着。

△第四日

…午前九時

起床。

…十時

朝食。

…十一時

溫泉場發。

…十一時半

久良栖着。

…午後一時

久良栖發。

…二時半

臺北着。

コースの一

午前九時三十分發臺北の急行列車に乘込まうとするもよく、その日のうちに臺中の街をとほり越して、何れの驛に降車するもよいのである。

小倉郡とか云はれる臺中の夜は、靜かに流れる大甲溪の流れを見ながらしみ〴〵と、旅情を樂しむもよく、溫泉場に着いてからは、何の不安もない、疲勞を休めるもよく、溫泉場附近の名所舊蹟を探るもよく、溫泉場を中心として、東は東勢角、西は大甲、南は埔里社、北は臺中の各地へ、それ〴〵バスが通じてゐるので、何處へ行くにも、極めて便利である。

コースの二

午前九時三十分發臺北の急行列車に乘込まうとするもよく、その日のうちに臺中の街をとほり越して、何れの驛に降車するもよいのである。

小倉郡とか云はれる臺中の夜は、靜かに流れる大甲溪の流れを見ながらしみ〴〵と、旅情を樂しむもよく、溫泉場附近の名所舊蹟を探るもよく、溫泉場を中心として、東は東勢角、西は大甲、南は埔里社、北は臺中の各地へ、それ〴〵バスが通じてゐるので、何處へ行くにも、極めて便利である。

△第三日

…午前九時

起床。

…十時

朝食。

…十一時

溫泉場發。

…十一時半

久良栖着。

…午後一時

久良栖發。

…二時半

臺北着。

△第四日

…午前九時

起床。

…十時

朝食。

…十一時

溫泉場發。

…十一時半

久良栖着。

…午後一時

久良栖發。

…二時半

臺北着。

コースの二

臺北驛から、午前九時四十分發の急行列車に乘込んで、約二時間半ばかりで、埔里社驛に着く。

驛前から、バスに乘つて、眞北に、約一時間半ばかり、山道を登つて行くと、そこは海拔二千尺の高地にある、明治溫泉。

八仙山八景

小原眼、久良栖驛前、見返り坂、松山、合歡峠、佳景溪谷、斷崖、頭角、溫泉場

交通

バス往復

臺北埔里間　一圓九十六錢

埔里久良栖間　三圓

臺北埔里間　四圓八十錢

臺北埔里間　三十四錢

埔里久良栖間　一圓九十六錢

埔里久良栖間　三圓

（往）

臺原發前七・一〇發二・五〇

東勢發前七・五〇　後二・一〇

十文溪着前九・四〇後五・一〇

（復）

十文溪發前一〇・一〇後五・三五

東勢發前　後一・二五

臺原着　後三・二〇後七・四五

全臺灣庭球選手權

愈よ今明日が決戰

若手陣は臺北コートに於いて勝ち抜いてゐたが、愈々本明日にかけて、準決勝戰を行ふ事となつた、十三日までの經過次の如し

【ダブルス二次戰】

大倉（同好會）6—4 6—4 岡田（臺銀）

【シングルス二次戰】

イノセ（臺銀）6—1 6—3 大倉（同好會）

【シングルス三次戰】

根岸（同好會）6—1 6—3 池井（同好會）

【中等シングルス決勝】

中尾 — 峠力

午前十時　審判コート

【女子ダブルス決勝】

A—B

【女子ダブルス決勝】

（甲組優勝）— （準優勝）

（小山）（岸）

午後一時

【女子シングルス準決勝】

甲田（臺銀）— 藤井（臺銀）

E　吉田（二步）— 武藤（臺銀）

【中等シングルス決勝】

C—D

【女子シングルス決勝】

E—F

市內軟式野球

臺北球界軟式野球大會は、愈々本日より、臺北市內各球場に於て、熱戰を開始する事となつたが、本日は、午前九時より、西門實業團對大日製菓團、午後一時より、西門實業團對臺拓團、午後三時より、臺銀團對臺電團、午後五時より、臺拓團對臺電團、午後七時より、臺銀團對大日製菓團、の試合行はるゝ筈である

巧いのか狡いのか

とに角三〇歳オーバー軍勝つ

若さ一點張りの若武者連を向こうに廻して、老巧振りを發揮、三十一歳の峠力、三十五歳の池井、三十六歳の岸田、三十七歳の藤井、三十八歳の安田、三十九歳の田中、四十歳の橋本、四十二歳の清田、四十三歳の宇太郎、と、とに角三〇歳オーバー軍が、若武者連を向こうに廻して、堂々の勝利を收めたのだから、全く驚いてしまふ、若さの特權である、スイング・フォームなぞ、何處へやら、ボールの行方は、全く無茶苦茶、ラケットの振り方も、ボールの打ち方も、全く無茶苦茶